



N P O 法 人 な ご み

兵庫県西宮市鳴尾東地域で活動する**住民運営型NPO法人**。
2014年11月に発足し、7年目がスタート。
全ての住民が住み慣れた地域で
暮らしつつげられるまちの実現を目指し、活動中。

1 活動地域（市）



兵庫県西宮市 （令和2年4月）

【人口】 約49万人

【高齢化率】 約22%

なるおひがし

鳴尾東地域 （小学校区）

【人口】 約12,300人

【世帯数】 5600世帯

【高齢化率】 約27%

1 活動地域（校区）

鳴尾東小学校区

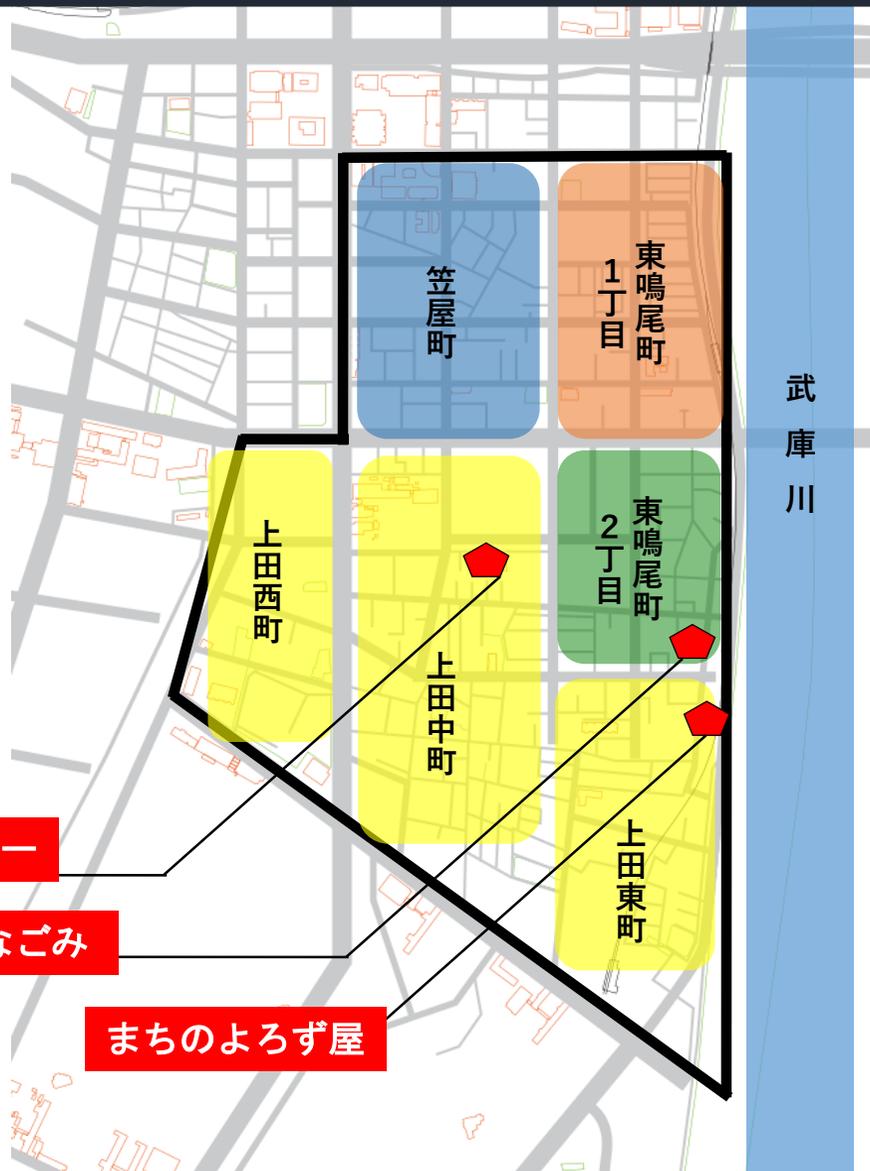
- ① 上田自治会
- ② 東鳴尾 1 丁目自治会
- ③ 東鳴尾 2 丁目自治会
- ④ 笠屋町自治会

4 町の連合自治会
= 鳴尾東コミュニティ協議会
で構成されている

鳴尾老人福祉センター

まちcafeなごみ

まちなよろず屋



2 活動構成員

■正会員：30名

活動の中心になって関わっている人
(常勤1名／パートスタッフ14名)

■活動ボランティア：約150名

活動毎での住民協力者



3 活動内容【法人のメイン事業】



西宮市 共生型地域交流拠点 「まちcafeなごみ」



3 活動内容



西宮市 共生型地域交流拠点 「まちcafeなごみ」



つどい場カフェ

月～土曜日9時～16時



赤ちゃんスペース

土曜日・月曜日午前中

3 活動内容



西宮市 共生型地域交流拠点 「まちcafeなごみ」



なごみ体操

毎週金曜日13時半～14時



介護予防講座

毎月1回開催

⇒大人の絵本セラピー・落語・笑いヨガ

3 活動内容



西宮市 共生型地域交流拠点 「まちcafeなごみ」



なごみで晩ご飯

毎週水曜日17時半～19時



専門相談日

毎月1回程度（随時実施）

⇒薬剤師・包括支援センター・鍼灸師
整理収納アドバイザー・リンパ施術師

4 共生型地域交流拠点

- 2014年度～西宮市 **委託事業（モデル事業）**
- 2018年度～西宮市 **補助事業化** ※一般介護予防事業

- 特徴**
 - 1) 地域**住民**で運営 【住民運営型】
 - 2) **いつでも**開いている 【常設型】
 - 3) **誰でも**利用出来る 【共生型】
 - 4) **人・情報**とつながる 【情報交流拠点】
 - 5) **相談**ができる 【相談拠点】

- 利用者** 1日40～50名（高齢者が**6割～7割**）

4 共生型地域交流拠点 ～全市への展開～



① 鳴尾東地域「まちcaféなごみ」



② 安井地域「ふれぼのカフェ」



③ 今津地域「ふくふくサロン」

④ 西宮浜地域
「カフェマリナふらっと」

⑤ 春風地域
「スマイルサロン春風」

NPO法人なごみが進める共生のまちづくり実践

地域・大学連携事業



地域×大学連携事業



指定管理運営



「食」の支援・活動



共生型地域交流拠点 『まちcafeなごみ』



不登校支援事業



社会教育・生涯学習



地域活性化・復興支援



令和1年度～ワンコイン生活支援事業



5 まちのよろず屋



全世代・住民運営型の生活支援「まちのよろず屋」



5 まちのよろず屋



「昔はね・・・」



近隣住民、支え合う地域

5 まちのよろず屋

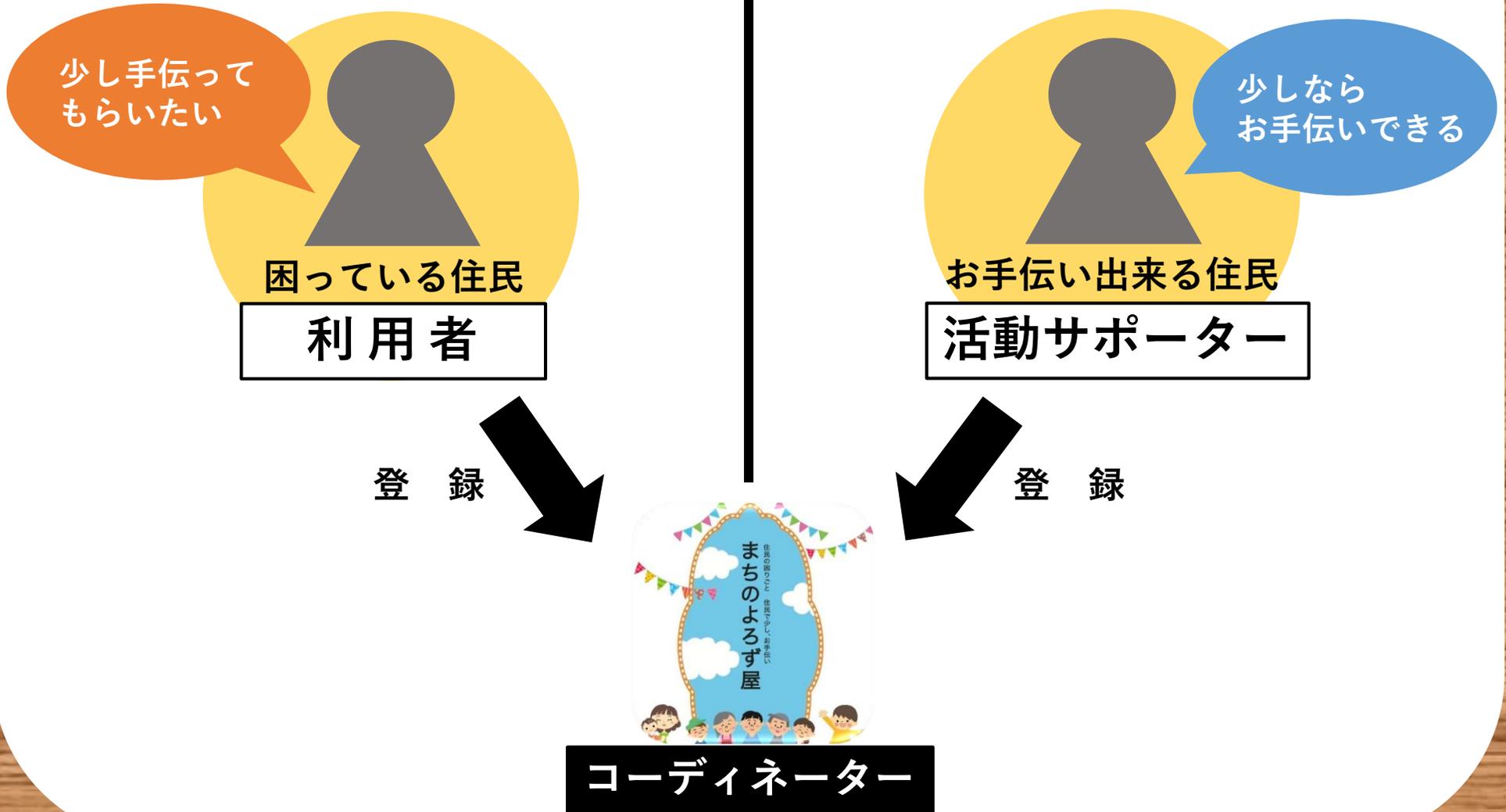


「今の地域は・・・」

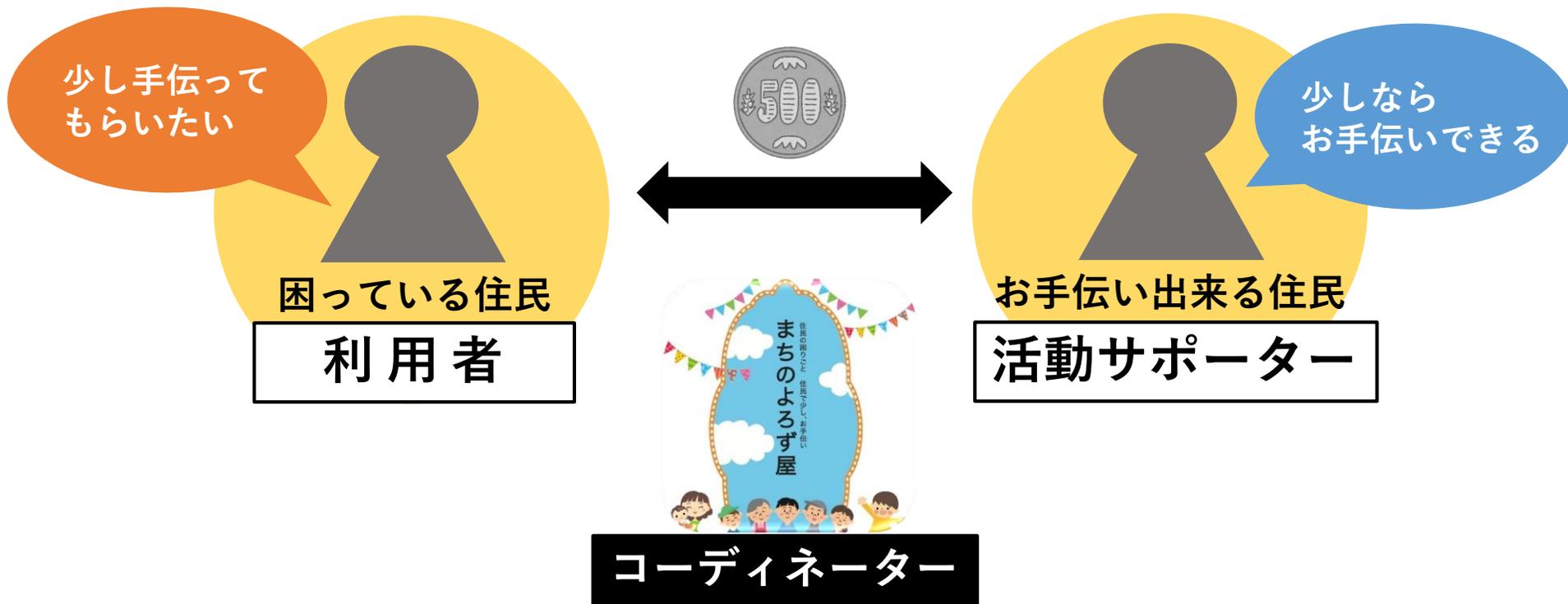


近隣住民の関わりが希薄
「困っている」が分からない・言えない

5 まちのよろず屋

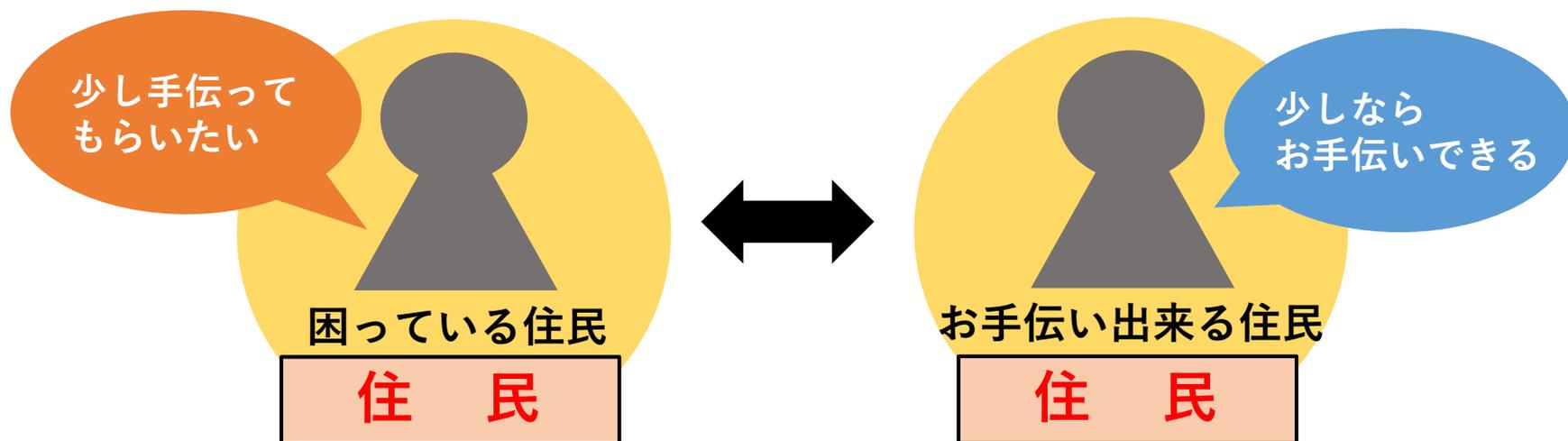


5 まちのよろず屋



住民同士、住民の声をまちにつなぐツールとして
「ワンコイン」を活用

5 まちのよろず屋



もう一度、つなぐツールがなくても
繋がりが、助け合えていたまちの姿を目指して



**利用者さん
募集！！**

誰かにちょっとお手伝いしてほしいときが、誰にでもありますね。
ご高齢の方、子育て中の方や、仕事で忙しい方でも、どなたでも利用可能です。
現在、約250名の方が登録し、利用されています。

【よく入る相談・依頼】

- 買い物代行 ● ゴミ捨て
- 掃除 ● ペットの散歩 ● 草抜き
- 電球交換 ● 通院付き添い
(専門的な技術が必要なものはお受けできません)



【利用料金について】

- 100円/10分以内 ゴミ捨てなど
- 500円/30分につき 買い物や付き添いなど



【登録について】

- ご利用に当たり、登録が必要です。
- 年会費500円
 - 登録は、コーディネーターがご自宅にうかがいます



住民のお困りごとをワンコインでお手伝いする

まちのよろず屋

**活動サポーター
募集！！**

現在10代～70代まで約110名の住民さんが活動サポーターとして活動しています。
さらに依頼数が増加しており、新たにお手伝いする方を募集しています。
「空いた時間にできることをできるだけ」で、ぜひご協力ください！

【活動のスタイル】

- ご自身の買い物と一緒に、にスーパーへ買い物代行
- お子さんが幼稚園に行っている間に少し掃除やお片づけへ
- 通学・通勤前にゴミ捨て ● 修理だけ専門で活躍する男性
- 介護や保育経験を活かして、付き添いやお話し相手



【活動費について】

- 利用料の80% (60分の場合800円) が、活動サポーターさんへの活動費になります。
- 活動にあたっては登録が必要です (保険料含む 年会費600円)



- サポートしてくれるコーディネーターさんがいるので、安心して活動できます
- 専門的な資格が必要なく、定期的な研修会 (任意) も実施しています。
- 内容によっては複数人で対応するときもあります。
- 身近なエリアで、動ける時間だけ活動が可能です。中高生も活躍中！



【よろず屋連携ネットワーク (対応可能地域)】 ※対象外の場合でも、お困りの方は一度お問合せください。

- つどい場はまかぜ (南甲子園エリア) ○ つどい場このゆびとまれ (南甲子園エリア)
- まちのね浜甲子園 (甲子園浜エリア) ○ NPO法人JLC兵庫つながり (今津エリア) ○ あいのて (西宮北部エリア)
- NPO法人なごみ (鳴尾東・高須・鳴尾エリア) ○ 鳴尾東地区ボランティアセンター
- 浜甲子園地域包括支援センター ○ 高須地域包括支援センター ○ 西宮市社会福祉協議会



◀ スマートフォンより
活動者の声や様子など
詳しくご覧いただけます

**ご依頼
お問合せ**



☎0798-56-8273

yorozuya.naruo.nagomi@gmail.com



1

地区ボランティアセンター（既存の地域ボランティア）機能の低下

社会・時代の変化に伴い、住民の生活スタイルやニーズも変化。週2回開設されている地区ボランティアセンターへのニーズ・相談案件は年々減少し、住民からの認知も低下している。ボランティア登録をされている住民の高齢化や固定化も深刻で、機能の見直しと再活性化が課題となっている。

2

地域活動の担い手不足・高齢化

60代はもちろんのこと、70歳を超えても「働く」方が多い中、地域を支える活動者の代替わりが行われず、固定化が担い手の高齢化を招いている。また新たに住民が参画しづらい環境（メンバーの固定化）にもなっており、既存の地域活動は新たな人材を発掘・育成できる環境となっていない。

3

全ての世代に対応出来る生活支援

日常生活を送る上で、生きづらさや不安・悩みを抱えている住民は独居高齢者だけではない。複合化した課題を抱える世帯や子育て世代、障がいや老々介護問題など、年齢や世代に関係なく生活の一部の「助け」を必要としている。しかしながら制度やサービスはまだ縦割りで対象者が限定的なものが多く、全ての世代に対応できる事業・活動が整備されていない。

4

突発的に生じる困りごとへ対応できる機能

地域の高齢者へのアンケート調査から、地区ボランティアセンターへの相談をしない理由の一つに「今困っている事があるのに対応してもらえない（仕組みとして）」という問題があった。近くに家族や知り合いがおらず、日頃から近所づきあいの少ない住民にとって、突発的に生じる困りごとに対応してもらえる資源を求めている。

5

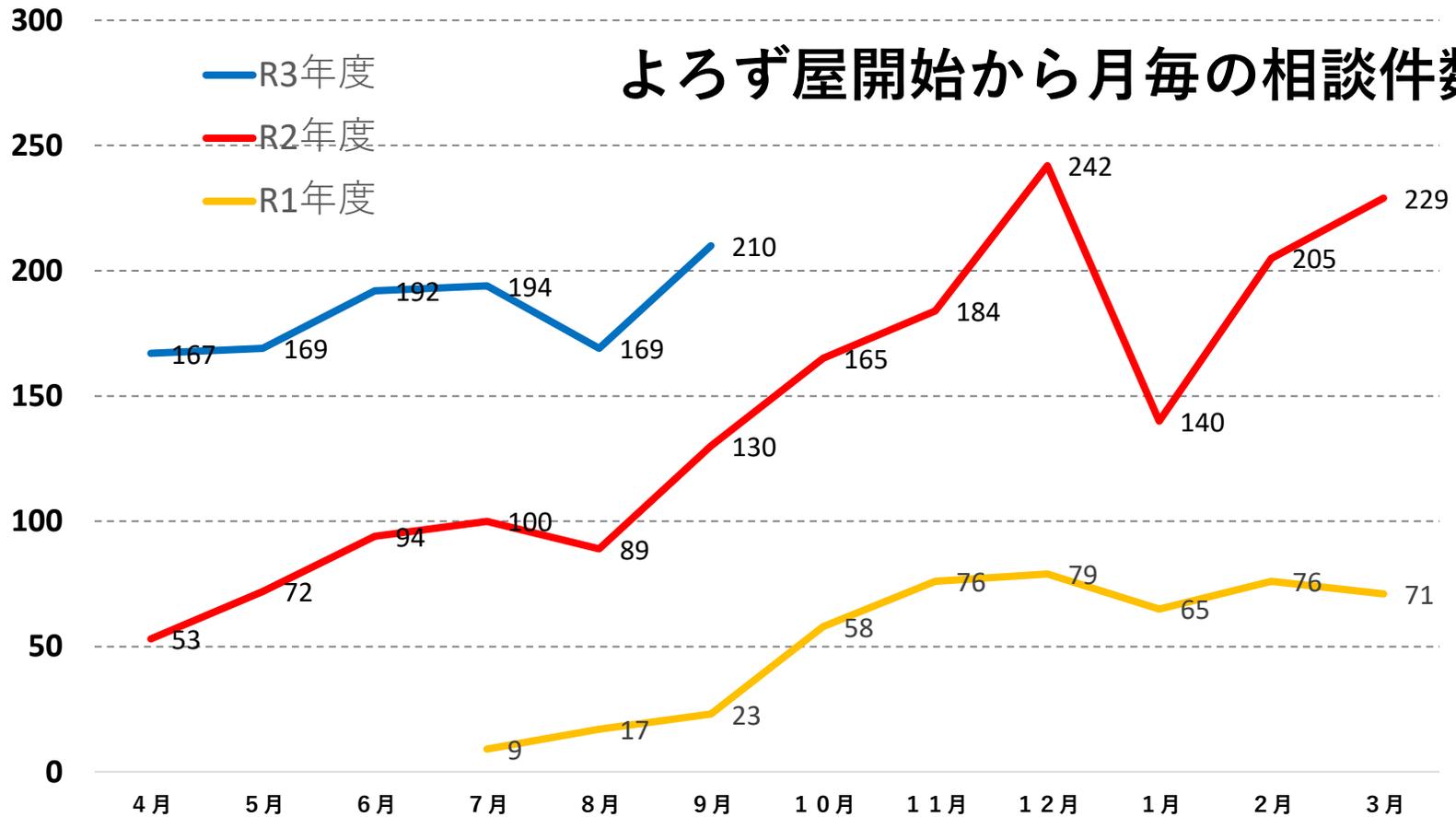
制度・サービスの狭間への対応

介護保険や障がいサービスが整備される一方で、対象や利用に限度があり、その狭間で困りごとがあっても支援が足りず、我慢や無理をされている方が少なくありません。また止むを得ず、自費サービス等を利用している方もいるが、経済的な負担が大きいことに悩みを抱えている方も多い。

5 まちのよろず屋



～相談・依頼件数の推移～

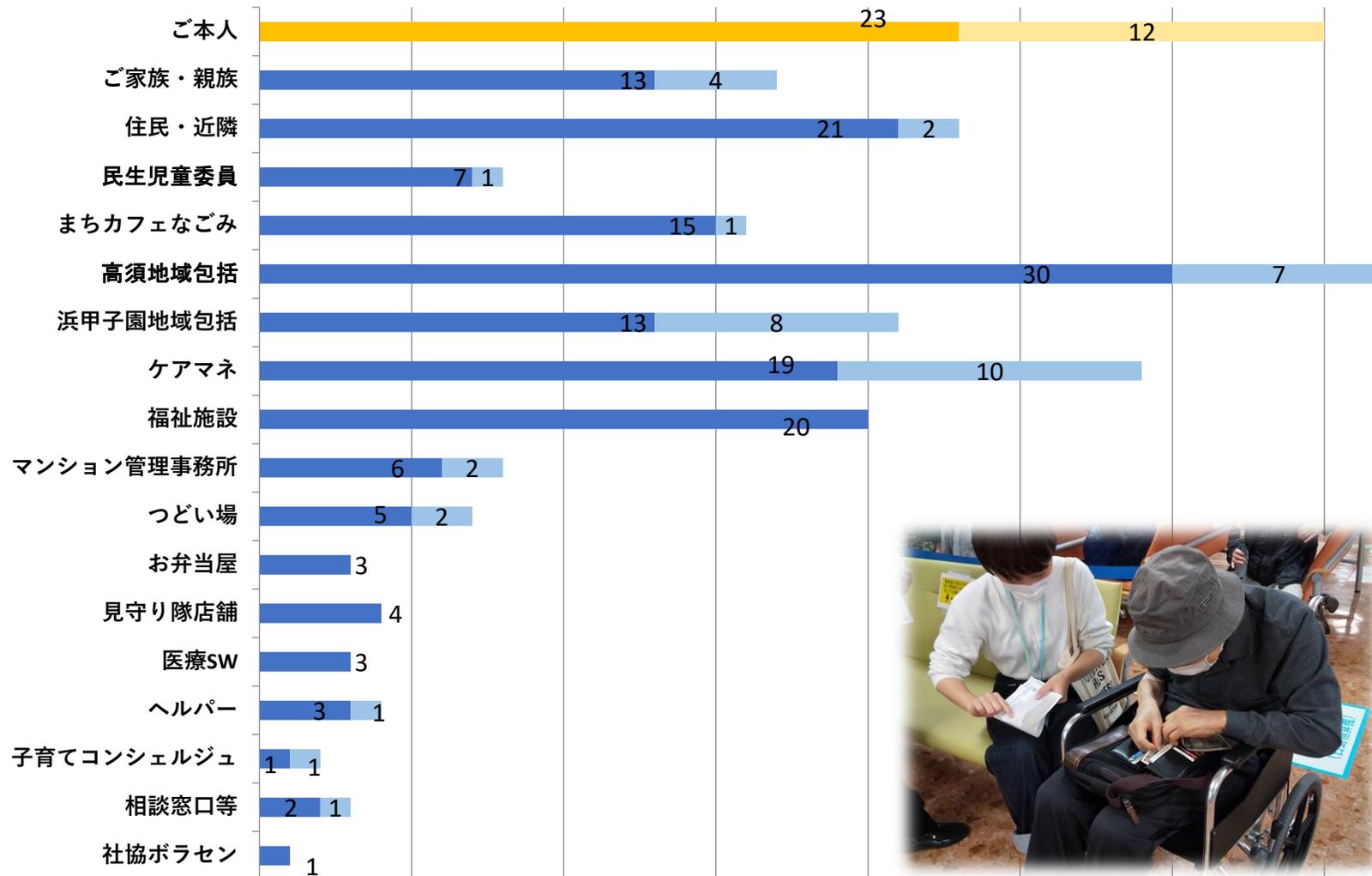


2021年8月現在

5 まちのよろず屋



～ 依頼の繋がり方～

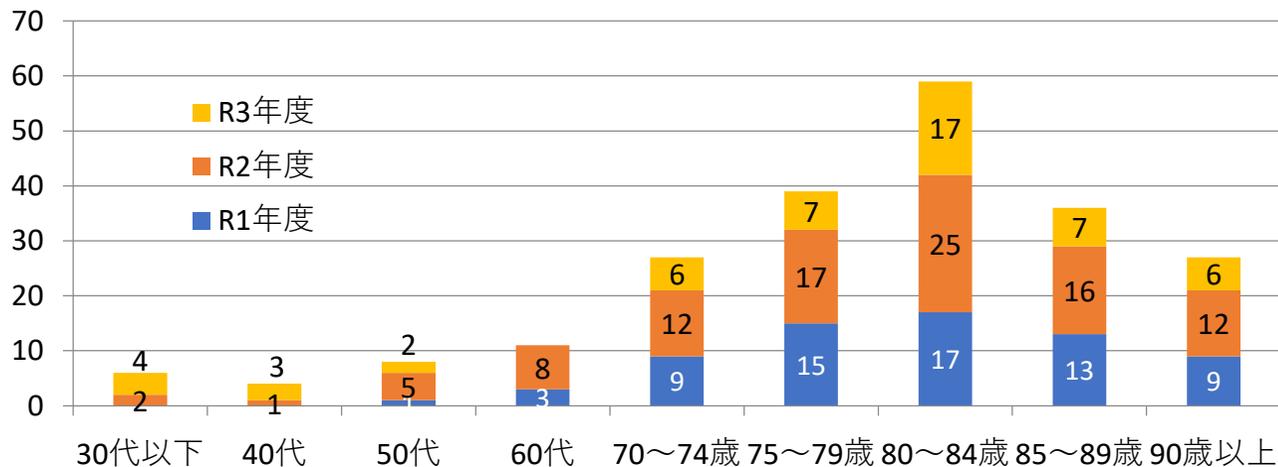


2021年8月現在

5 まちのよろず屋



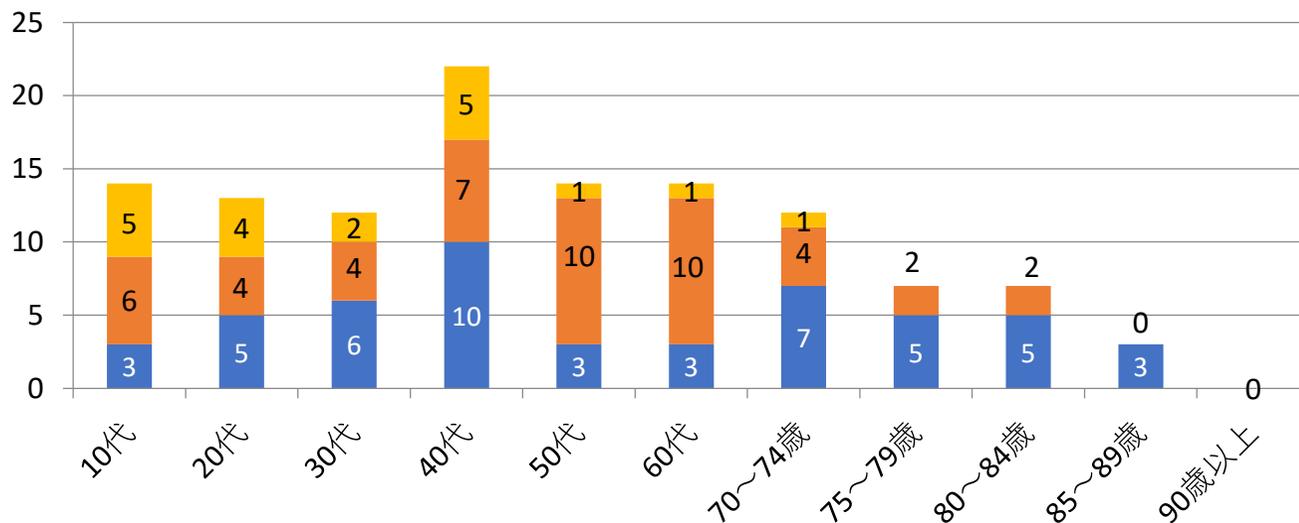
～利用者・活動サポーター～



利用者

246名

平均年齢
79歳



活動サポーター

106名

平均年齢
46歳

2021年8月現在

5 まちのよろず屋



～依頼・相談内容～



件数	その他案件の内容
14件	家具移動・家事のサポート
10件	保育園送り迎え
9件	身の回りの手伝い
8件	鳥（雀・鳩）よけ／物品引き取り
6件	スマホ修理・設定／調理補助／家具・ベッドの組立
4件	荷物の運び込み／入院中のポスト整理
3件	パソコンデータ入力・修理／行政書類提出／引っ越し手伝い
2件	家電設定／電話機設定／デイ送り出し・迎え入れ／ミシン受け取り⇄修理店／点眼電気の取り外し・取り付け／水道柱・パッキン修理／散歩同行／東こだま案件
1件	電気の配線工事／ベッド処分／プリンター取り換え／インターネット解約／時計設置／着替え介助おむつ交換／病院手続き代行／布団カバー替え／突っ張り棒取り付け／入院中の買物代行／通院代行／窓パッキン付け替え作業／お墓の掃除／ハチの巣駆除／掃除機のゴミ処理／病院予約票受け取り／ケーブルチューナー取り外し／カーテン取付／バルサン／家具解体／物干しざお引き上げ／靴ひも結び直し／ウォッシュレット設置／減災部品の取り付け／暖房器具の設置／すだれ設置／入院時送り出し

2021年6月現在



① 無償活動と有償活動の共存

ボランティア

ボランティア

② 地域づくりにつなげる相互生活支援

③ 連携と協働の地域づくり



① 無償活動と有償活動の共存

ボランティア

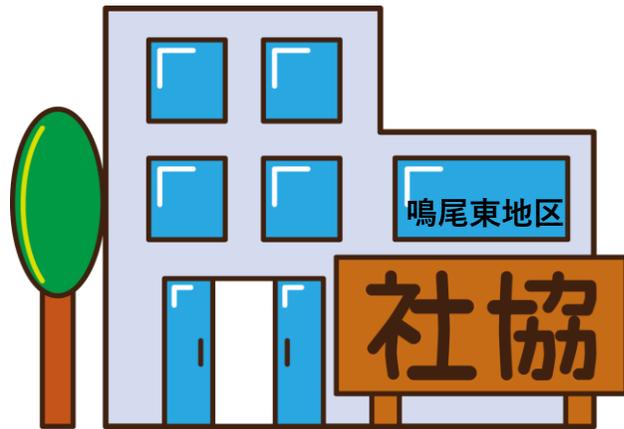
ボランティア

- ・ 立ち上げまで **4年間の準備期間**
- ・ 地域で新たに生まれたサービスではなく
地域で立ち上げた活動

5 まちのよろず屋



～実践のポイント①～

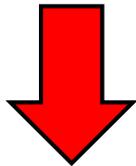


住民運営

地区ボランティアセンター

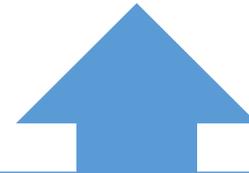
無償ボランティア

利用減少
機能の低下
活動者の高齢化



住民運営

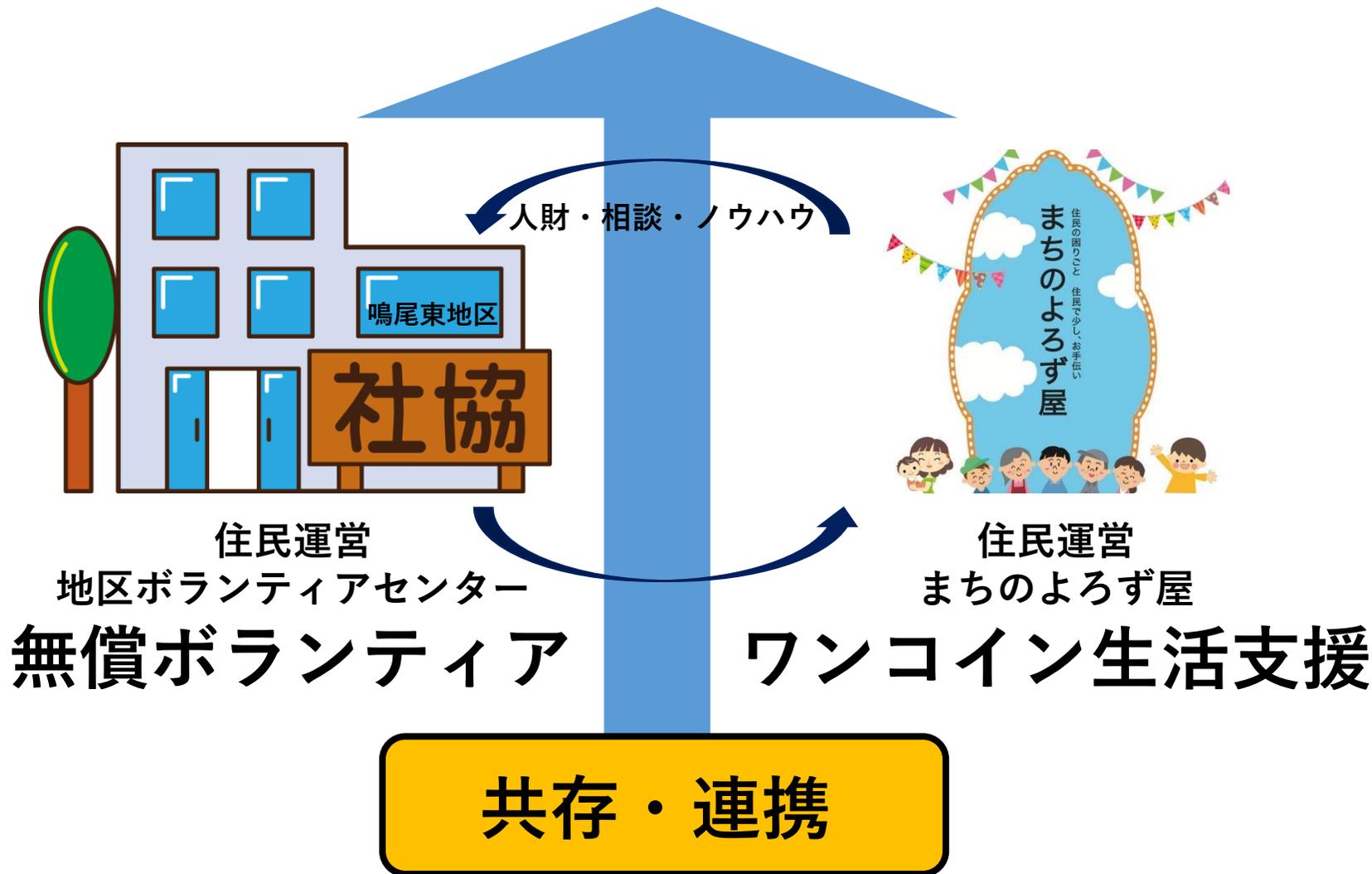
有償型の生活支援



5 まちのよろず屋



～実践のポイント①～



NPO法人なごみ 2013年～2021年の活動展開

前身の活動

2013年度

多世代交流つどい場～和～

- 住民有志による「鳴尾東ふれあいまちづくりの会」発足
- 子どもを中心に置いた多世代交流の場づくり

2014年度

まちcaféなごみ 委託事業

介護予防・日常生活支援総合モデル事業

当初は、総合事業のモデルとして、拠点を置きながら通所型訪問型サービスの展開を想定した動きで活動が立ち上がった

拠点立ち上げ・資源の整理

2015年度

有償生活支援の検討

一般介護予防事業 委託事業

ミニデイサービスの検討

運営団体・行政・社協・地域包括と月1回の運営委員会を実施し、現場での実施状況の検討を重ねた結果、事業の方針転換を決定する。

地域づくり支援モデル事業

なごみで晩ご飯

2016年度

関西学院大学 社会学部のゼミと連携し、1年間地域調査活動を実施

地域×大学×NPO連携
鳴尾東つながるプロジェクト 地域調査

2017年度

まちのがっこう
準備委員会

まちの見守り隊

共生のまちづくり

2018年度

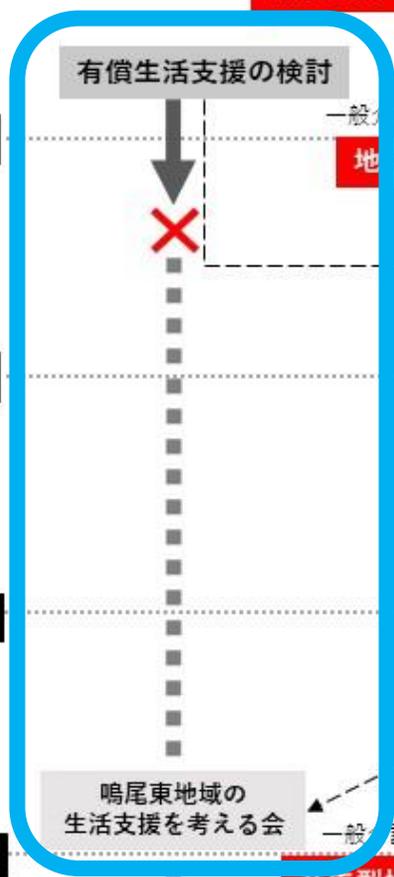
鳴尾東地域の
生活支援を考える会

一般介護予防事業 補助事業

指定管理運営

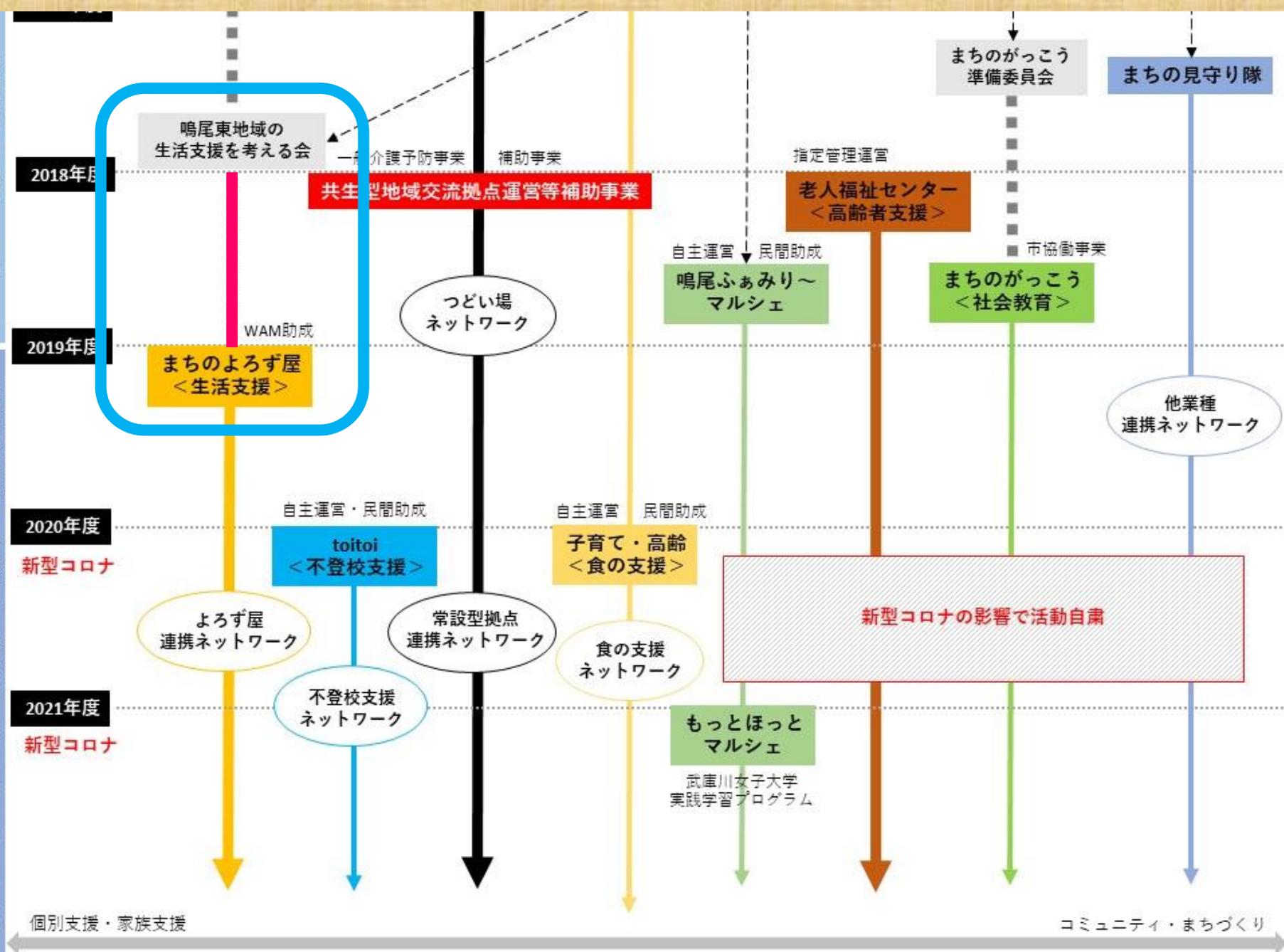
共生型地域交流拠点運営等補助事業

老人福祉センター



共生のまちづくりへ

事業間連携と多機関・他団体とのネットワーク化



※この展開図の中では「大学連携事業」「復興支援事業」「人材育成事業」については記載していません。



これまでの地域活動を支えてこられた
住民ボランティアさんの口から
「この地域には有償の活動も必要」
という言葉（意見）が出る事



本当の意味で、地域活動として
共存・連携した有償活動のスタート

その為の準備期間（4年間）だった



① 無償活動と有償活動の共存

ボランティア

ボランティア

② 地域づくりにつなげる相互生活支援

③ 連携と協働の地域づくり

5 まちのよろず屋



～実践のポイント②～

少し手伝って
もらいたい



困っている住民

利用者

独居高齢者
疾患・療養中の方
8050家庭
産前産後のママ
子育て家庭



少しなら
お手伝いできる



お手伝い出来る住民

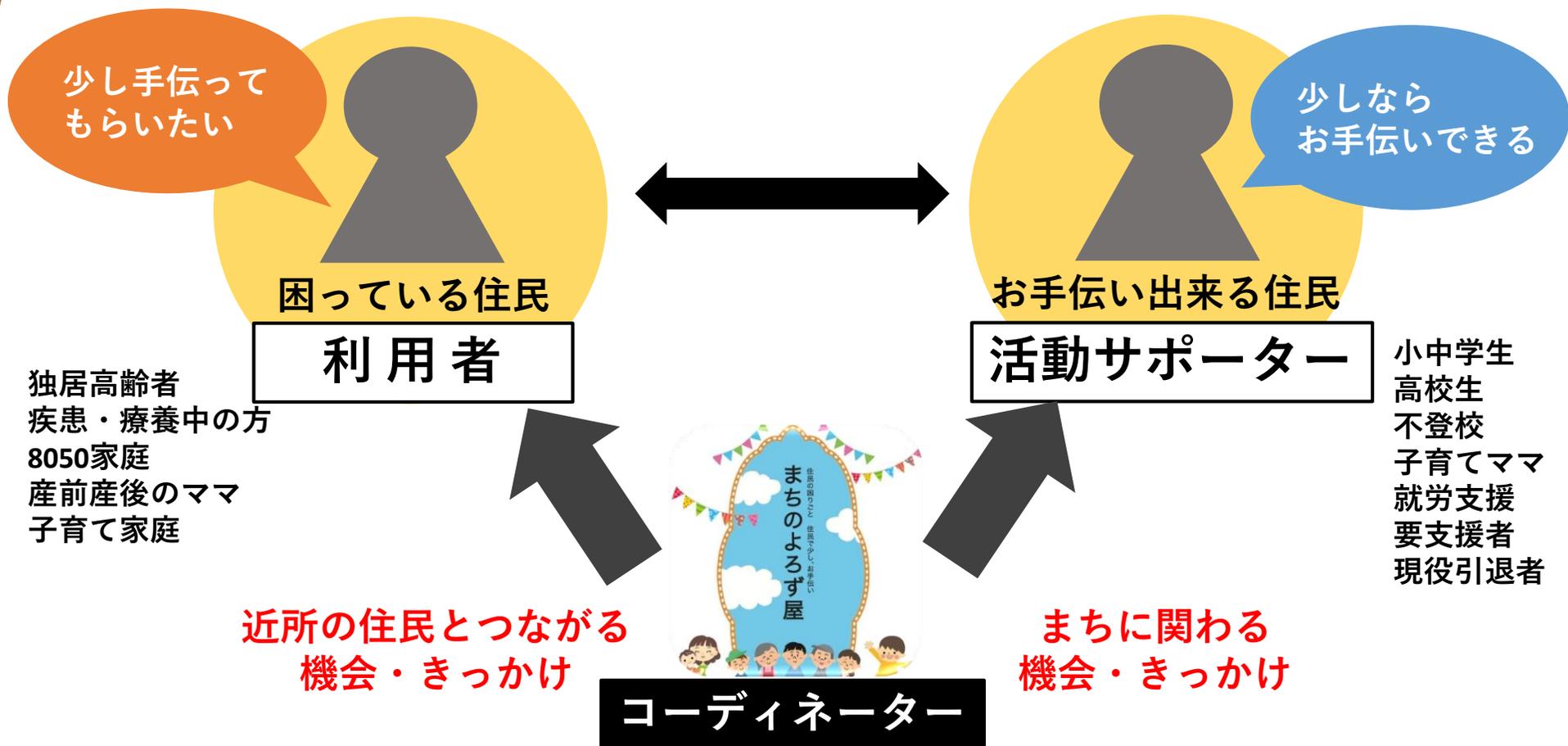
活動サポーター

小中学生
高校生
不登校
子育てママ
就労支援
要支援者
現役引退者

5 まちのよろず屋



～実践のポイント②～



住民の困りごとを解決する「生活支援」と
よろず屋を通じて「地域づくりに関わる機会」をコーディネート



① 無償活動と有償活動の共存

ボランティア

ボランティア

② 地域づくりにつなげる相互生活支援

③ 連携と協働の地域づくり



行政・関係機関

**行政・社協・地域包括との連携基盤は、
7年前から毎月1回実施している
NPO法人なごみの運営委員会**

- 実践を報告⇒検証⇒チャレンジの繰り返し
失敗も発展も共に取り組んできた
- 現場（地域）に足を運んで体感・経験。

NPO法人なごみ 2013年～2021年の活動展開

前身の活動

2013年度

多世代交流つどい場～和～

- 住民有志による「鳴尾東ふれあいまちづくりの会」発足
- 子どもを中心に置いた多世代交流の場づくり

2014年度

まちcaféなごみ 委託事業

介護予防・日常生活支援総合モデル事業

当初は、総合事業のモデルとして、拠点を置きながら通所型訪問型サービスの展開を想定した動きで活動が立ち上がった

拠点立ち上げ・資源の整理

2015年度

有償生活支援の検討

一般介護予防事業 委託事業

ミニデイサービスの検討

運営団体・行政・社協・地域包括と月1回の運営委員会を実施し、現場での実施状況の検討を重ねた結果、事業の方針転換を決定する。

地域づくり支援モデル事業

なごみで晩ご飯

2016年度

関西学院大学 社会学部のゼミと連携し、1年間地域調査活動を実施

地域×大学×NPO連携
鳴尾東つながるプロジェクト 地域調査

2017年度

まちのがっこう
準備委員会

まちの見守り隊

共生のまちづくり

2018年度

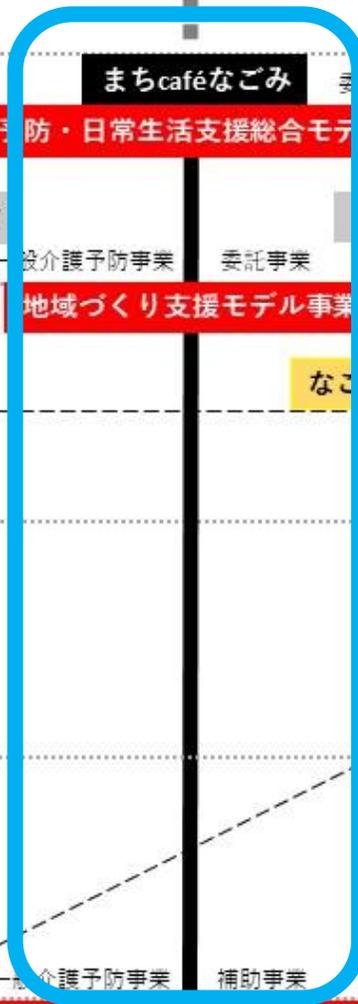
鳴尾東地域の生活支援を考える会

一般介護予防事業 補助事業

指定管理運営

共生型地域交流拠点運営等補助事業

老人福祉センター





地域諸団体・活動団体・NPO

**活動を立ち上げる過程で
必ず「準備委員会」や「試行期間」などの
共通基盤を作る時間を大切にしている**

- 住民活動者の心の準備期間と意見を言える場を設ける
- 初めての事や分からない事に対して、「とりあえず動いてみよう」という空気

5 まちのよろず屋



～実践のポイント③～

協働・連携機関の拡大ポイント

まちのよろず屋を実施する中で、
依頼ケースを通じて必要となる機関・団体と
一つずつ連携・協働を拡大。

- 単に繋がりの数を増やす **×**
ニーズへのアプローチや結果をシェアする
- 連携先が欲しい・関心のあるデータを
リサーチして還元する



今、力を入れている協働・連携のポイント

これまで地域福祉との繋がりが弱かった分野（商店・マンション管理事務所・弁当屋等）との連携を開拓

- 「**居住**の支援」分野との連携
- 「**食**の支援」と連動した形でのサポート
- 法人内の事業間連携

NPO法人なごみが進める共生のまちづくり実践

地域・大学連携事業



地域×大学連携事業



指定管理運営



「食」の支援・活動



共生型地域交流拠点 『まちcafeなごみ』



不登校支援事業



社会教育・生涯学習



地域活性化・復興支援



ワンコイン生活支援事業

